

オリックスの太陽光発電システム

バロー、新たに2店導入

バローホールディングス、オリックス、北陸電力は22日、第三者が発電設備を無償設置する「PPAモデル」を利用し、オリックスが新たにスーパーマーケットバローの2店舗で太陽光発電システムの運用を始めた、と発表した。オリッ

クスがバロー店舗に発電システムを設置する取り組みは今回で4店舗となった。オリックスは2月25日までに、福井県越前市のバロー武生店に295^{平方}メートル、金沢市のバローゆいの里店に2

36^{平方}メートルの太陽光パネルを両店舗の屋根にそれぞれ設置。バロー側は発電した電力を購入するほか、不足分は北陸電力から購入する。

太陽光発電の電力を活用すること、パネル設置前と比較して二酸化炭素排出量を15〜20%ほど抑制できる。蓄電池も設置し、発電時に店舗内の照明やトイレ、商品管理システムの

最低限の店舗運営が24時間程度可能になる。

3社は今後、導入店舗の電力使用データや機器稼働データを活用し、バロー店舗間での電力融通などの取り組みを検討する。